タイトル（MSゴシック体　12ポイント）

演者・共同演者名（MSゴシック体　10ポイント）

例）香川太郎・香川二郎

所属（MSゴシック体　10ポイント）

例）〇〇病院　△△科

キーワード3つ（MSゴシック体　10ポイント）

本文（MS明朝体　9ポイント）

①構成

**【目的】、【対象】、【方法】、【倫理的配慮】、【結果】、【考察】、【まとめ】、【引用文献】等の順で原則記載して下さい。**

**症例報告に限り【方法】を【症例】に変更する事を認めます。**

**【倫理的配慮】の記載例：(例)ヘルシンキ宣言に基づき本人の同意を得た。倫理委員会の承認を得て患者が特定されないように配慮した。**

②写真・図表

人の写真は必ず顔の処理を行い、人物が特定できないように配慮する。写真・図表を入れる際には、挿入スペースおよび位置を十分考慮する（スペースが小さすぎる、断組みの途中に写真・図表がきてしまうなどのないように）。また、図表はスライドを転記することを禁止とする。

題名を記載：表の場合は上側。図の場合は下側で説明する。

グラフ・図の色も白黒印刷時に分かりやすくする。

③引用文献

文献の配列は引用順に番号をつけ本文中の引用箇所に肩見出し番号として記載する。文献の記載は下記の例に従う。雑誌、単行本、インターネットにより文献の記載方法が異なるので注意する。

＜記載例＞

1）宮本謙三,竹林秀晃,他：加齢による敏捷性機能の変化過程―TenStepTestを用いて―.理学療法学2008;35:35-41.

2 ）Ledezma,G. Bejan,A; Heat sinks with sloped plate fins in natural and forced convection. International Journal of Heat and Mass Transfer.1996,vol.39,no．9,p.1773-1783．

3）信原克哉：肩―その機能と臨床―（第3版）．医学書院，東京,2001,pp156-168.

4）Special edition, social epistemology and information science. Social Epistemology.2002,vol.16,no.1,p.1-114．

5）名郷直樹：EBMの現状と課題，エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際.内山靖（編）,医歯薬出版,東京,2008,pp18-38.

6)http://www.who.int/classifications/icf/site/icftemplate.cfm（参照2007-05-19）

【注意事項】

原稿は，A4用紙2枚までとします．必ず説明と同意の文章を入れて下さい．図表，画像は見やすさ，挿入スペースを十分に考慮し，現行の指定枚数内に納まるように十分ご注意ください．